

1 生涯学習の支援と推進体制の整備

めざす姿

市民一人ひとりが生涯にわたって心豊かで潤いのある生活が送られるよう自発的意志に基づいて学習ができ、その成果が社会に生かすことができている。

	推移							目標
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R5
生涯学習に取り組みやすい(満足度調査)	3.16p	-	3.13p	-	3.10p	-	3.04p	3.34p

3年度の
ポイント

- ① 多様化する学習ニーズに対応するための情報発信
- ② 生涯学習プランの推進

① 社会教育総務管理事業 **継続** 【予算額 2,788千円】

学習情報の提供

「生涯学習メニュー版」の発行や、市報、ホームページによる情報発信

人権教育の推進

人権教育推進協議会を運営し、講演会等を行い人権教育を推進する

全国大会出場者の激励

文化活動における全国大会出場者を激励する



人権教育推進協議会 研修会



「生涯学習メニュー版」
公民館で開催する講座などを紹介

② 公民館管理運営事業 **継続**

【予算額36,810千円】

3公民館共同事業の実施

ふるさと講座等の開催
公民館報の発行

各公民館の管理運営事業の実施

公民館運営審議会の開催
学級・講座の企画運営による学習活動
分館の育成（分館長・主事会の開催）
施設管理



平和講座の様子

2 生涯学習施設の整備と活用

めざす姿 地域の特性を活用しながら、学び・実践していく場所としての施設整備と活用がなされている。

	推移							目標
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R5
図書館や公民館などの利用環境が整っている(満足度調査)	3.63p	-	3.64p	-	3.55p	-	3.58p	3.80p

3年度のポイント ① 生涯学習施設の整備を行い文化施設と一体的な活用を進めます。
② 生涯学習活動を支援します。

① **地域交流センター(赤穂公民館)等整備事業** 継続 【予算額164,000千円】
旧赤穂公民館の解体

② **ふるさとの丘管理運営事業** 継続 【予算額8,729千円】
指定管理による維持管理
竹花工業(株)駒ヶ根支店に指定管理を委託し施設の維持管理を行う

ふるさとの丘施設用地の借用
8人の方から借用している土地の賃借料

③ **十二天の森整備運営事業** 継続 【予算額 905千円】
生涯学習の場として、子どもたちを中心に活用する
活用イベント等の開催
遊歩道、支障木等の整備
ボランティア団体と連携した活動



自然観察会



断層路頭部分

④ **市民農園整備運営事業** 継続 【予算額 139千円】
市民農園の貸出
市民農園 北割23区画、南割16区画、計39区画の貸出し
市民農園用地の賃借料

1 文化財の保存と多面的な活用の推進

めざす姿 貴重な文化財の調査研究・保存に努め、有効に活用しながら、次世代に引き継ぐ意識の高揚が図られている。

	推移(R2は見込み)					目標			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
文化財の指定件数	45件	49件	49件	49件	50件	51件	53件	55件	56件

3年度のポイント ① 新たな文化財の指定
② 文化財の有効活用を図る

① 竹村家管理運営事業 **継続** 【予算額 2,438千円】

指定管理による維持管理

駒ヶ根伊南シルバー人材センターに指定管理を委託し施設の維持管理を行う

施設用地の借用

借用地の賃借料



旧竹村家住宅 文化財防火デー
消火訓練の様子

② 文化財保存事業 **継続** 【予算額 1,455千円】

新たな文化財の指定

文化財審議会の開催

指定文化財の保存管理

旧木下家住宅

民俗資料館

赤須城跡

芭蕉の松 等

光前寺庭園整備活用委員会の開催

名勝光前寺庭園の整備を行うための活用委員会を開催する

見学会等の開催



郷土館（菅の台）
駒ヶ根高原ブライダル協会



芭蕉の松
（東伊那 火山）

③ 埋蔵文化財発掘事業 **継続** 【予算額 141千円】

埋蔵文化財発掘調査委託

- ・ 埋蔵文化財包蔵地において緊急的に発掘調査が必要となった場合に実施する
その後、事業主より調査費を補填させる
- ・ 埋蔵文化財包蔵地にかかる土木工事等の工事立会い

2 創造的な文化芸術活動の推進

めざす姿 多くの市民が優れた文化芸術に触れる機会を持ち、自らも文化・芸術活動に参加をしている。

	推移(R2は見込み)					目標			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
文化芸術に親しみやすい(満足度調査)	-	3.00p	-	2.97p	-	3.10p	-	3.30p	-
文化センター利用者数	153千人	156千人	146千人	141千人	100千人	105千人	105千人	110千人	110千人

3年度のポイント ① 優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。
② 文化施設の整備を進めます。

① 総合文化センター等の運営 **継続** 【予算額 234,702千円】

文化センター管理運営事業 (214,629千円)

- ・ 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し各種事業の実施及び施設の維持管理を行う
コロナ禍での自主事業の開催（ミュージカル・オペラコンサート等）
伝統芸術文化の継承と保存
文化団体、鑑賞団体の育成と支援
施設管理
- ・ 駒ヶ根市文化財団職員の人件費補助
- ・ 令和3年4月より勤労青少年ホーム女性ふれあい館運営を文化会館へ統合。
公民館と連携した講座開催、文化団体の育成
- ・ 地域交流センター（赤穂公民館）との連携により住民の相互交流、教育・文化芸術振興を図る。

図書館管理運営事業 (15,704千円)

- ・ 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し図書館運営を実施
図書、諸資料の購入による蔵書資料の充実を図る
子ども読書活動推進計画による、
・ブックスタート、セカンドブックの実施
・絵本巡回事業の実施
・おはなし会等の行事の開始

蔵書数及び貸出数の推移

	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令元年度 (実績)	令2年度 (目標)	令3年度 (目標)
蔵書数(冊)	186,003	189,000	191,740	191,839	192,000	192,000
貸出数(冊)	210,678	211,524	205,471	203,500	200,000	200,000

博物館管理運営事業 (2,369千円)

- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し博物館運営を実施
第20回「駒展」の開催
第6回ジュニア駒展の開催
各種企画展示の開催
資料の収集整理
収蔵資料集 約125千点



ジュニア駒展

天竜かっぱ広場管理運営事業 (2,000千円)

- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し天竜かっぱ広場運営を実施
ふれあい講座、ミニほっと講座、歴史講座の開催
館収蔵資料・作品による企画展示の開催
竜東地域活性化への協力
施設管理

② エル・システマ事業 **継続** 【予算額 5,000千円】

音楽を通じて生きる力を育む事業

- 市内小学生を対象に、エル・システマのプログラムを活用した弦楽器教室等を開催



駒ヶ根子どもオーケストラ

1 市民スポーツの推進と環境整備

めざす姿

- ・スポーツを親しむ市民が増えている。
- ・市民出身のアスリートが各種大会で活躍している。

	推移(R2は見込み)							目標	
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R5
スポーツ少年団の小・中学生の加入割合	20.6%	21.6%	23.0%	20.6%	22.2%	22.3%	21.6%	25.0%	26.5%
週1回以上スポーツを実施する市民の割合				55.0%				60.0%	65.0%

3年度のポイント ① スポーツがもつ本来の力から、地域コミュニティや絆を構築し、一体感ある地域を目指します。

① 第8回信州駒ヶ根ハーフマラソンの開催

継続 【予算額 9,037千円】

過去7回の大会では、「走る人」「応援する人」「スタッフとして支える人」が皆で楽しむことをコンセプトに、市内各地域や、団体の皆様のご協力の下、大会に参加されたランナーの皆様から高い評価を受けることができました。また令和2年度は新型コロナウイルス感染症のためリモートマラソンを開催し1,600人余りの参加がありました。令和3年度もコロナの状況を踏まえつつ、参加するランナーの皆さんをスタッフとして大会を支える市民の皆さんの笑顔あふれる「応援」や「おもてなし」でお迎えし、この大会を軸とした地域の活性化を目指します。

開催日：令和3年9月26日（日） 参加者（予定） 4,000名（ハーフ、5Km、3Km）



② かけろ駒っ子 かけっこ教室・検定

継続 【予算額 531千円】

誰もが親しみやすく、あらゆるスポーツの基礎となる「かけっこ」を通して、子どもの体力向上やスポーツに親しむ機会を増加させ、家庭や地域内でのスポーツによるコミュニティづくりから地域全体のスポーツ推進を図って行きます。

かけろ駒っ子 かけっこ教室・かけっこ検定

過去5年間で行ったかけっこ教室は、子ども達の運動に対する意識付けとして、一定の成果をあげることができています。陸上短距離で元オリンピック選手の青戸慎二氏が作成した「かけっこマニュアル」を基に考案した、「かけっこ検定」を3校目の小学校で実施し、子ども達の運動意識を高めていきます。また学校教育に取り入れることで、指導する先生方にも好評です。子ども達が検定合格や自己記録の更新などを目標に、学校や家庭、地域でのかけっこの輪を広げ、スポーツに親しむ子どもを増やします。



③ トップアスリートとの交流事業

継続 【予算額 217千円】

オリンピック・パラリンピック・W杯に出場したトップアスリートや、国内トップスポーツで活躍しているアスリートを講師に招き、子どもたちにはスポーツを通して「夢」を持つことや実現に向けた話を聞いたり、実際に指導を受ける中で、スポーツを通して自ら「夢」を持ち、実現させるために努力していく姿を応援します。

新型コロナウイルス感染症の状況を判断しつつ、地域でスポーツの指導に携わる人や、これを志す人へもアスリートによる指導者セミナー開催の検討をし、指導者としての心構えや最新の指導方法を学び、指導者の育成や人材発掘へと繋げていきます。

さらに、協定を結んだ日本体育大学や、国内で同じ協定を結んだ他の自治体との連携により、トップアスリートや、集団行動等との交流を核に新たな地域間の交流から生まれる、健康づくりや元気なまちづくりの推進等、地方創生に即した活力ある取り組みを進めます。

